

国連主催未来サミット (Summit for the Future)

- 「国連創設75周年記念に関する宣言」 (2020年9月)
⇒12のコミットメント
- 「私たちの共通の課題 (Our Common Agenda) 」 (2021年9月)
- 「新・平和への課題 (New Agenda for Peace) 」 (2023年7月)
⇒12のアクションを勧告 (アクション1が核廃絶)
- **国連主催「未来サミット」 (2024年9月)**
⇒ 前書きと5つの章からなる行動志向の「**未来のための協定(Pact for the Future)**」をまとめる予定。
*5つの章：①「持続可能な開発と開発のための資金調達」、②「**国際の平和と安全**」、
③「科学・テクノロジー・イノベーション・デジタル協力」、④「若者・将来世代」、
⑤「グローバル・ガバナンスの变革」

グローバルアライアンス 「持続可能な平和と繁栄をすべての人に」

「『脱核兵器』と持続可能性 ポストSDGsに向けた転換と移行のための課題とビジョン」を発表（2022年4月）

= 『脱核兵器』の実現なしに持続可能な世界はあり得ない
（すなわち、「持続可能な地球や繁栄は、平和と安全保障の要素を抜きにしては実現し得ない」）

核兵器のない持続可能な世界を実現するためには、

「核兵器の廃絶に向けた転換」と

「核兵器を必要としない世界に向けた転換」

という二つの角度から、

「公正な移行」を確保しつつ、パラダイム転換をはかる必要がある。

= 核兵器をなくすためには、核兵器に関する議論だけではなく、社会システムも変えていかなくてはならない。

【参考】 <https://hiroshimaforpeace.com/global-alliance/>

『脱核兵器』と持続可能性

ポストSDGsに向けた転換と

移行のための課題とビジョン

へいわ創造機構ひろしま

(HOPe)

「公共善エコノミー(ECG: Economy for the Common Good)」

- クリスチャン・フェルバー著、池田憲昭訳『公共善エコノミー』
鉦脈社刊
- ECGは社会システムの変革を実現するための考え方と実践モデル
を提供。
- 私たちの北極星（追求すべきもの）は利益（いくら儲けたが）で
はなく、一人一人の尊厳が尊重されること、「善」である、がコ
ンセプト。
- 「競争」から「協調へ」
- 世界35ヵ国、4500以上の企業やNPO、自治体、教育機関に広
がっている具体的なプロジェクト（「公共善決算」をツールに社
会を変える。）。

